

活動名	団体名	NPO法人シンフォニーネット
「療育に関する事業(キラキラ☆キッズ)」 「余暇支援及び生活支援に関する事業 (キラキラ☆クラブ)」	地域	山口県下関市
	代表者	理事長 矢野 一麿
	支援金額	30万円
活動概要	<p>ボランティアと一緒に個別から小集団での活動を行う。学童部(キラキラ☆キッズ)では対象児により細かい支援を行い、人間関係を基にした療育を行うこと・兄弟児に安らぎの場を提供することを、学生・青年部では社会性を身につける、街に繰り出すことで地域に理解・支援の輪を広げていくことを目的としている。これらの活動は専門家のアドバイスを頂きながら、ボランティアが支援を行っている。活動を通してボランティアの養成を図り、地域と積極的に関わることにより、青少年の自主的活動を助長し、青少年の育成に寄与しようとするものである。</p> <p>◆実施時期： 21年4月～22年3月にかけて毎月一回市内及び近郊にて活動実施。</p> <p>◆参加人数： キラキラ☆キッズ…子ども:101名、ボランティア:103名、保護者:58名 キラキラ☆クラブ…子ども:82名、ボランティア:57名、保護者:58名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 459名</p>	



《バスを待つ間》



《クリスマス会にて》



《キッズお芋堀》



《クラブ調理》

#### ◆実施に伴う効果

他団体という訳ではありませんが、当法人の活動がきっかけでボランティア活動に目覚め、自分の地域で新たにボランティア活動を展開する学生がいたり、学生時代に活動に参加したことで保育士・教員を目指すようになり今春から教育現場で働き始めた方たちがいます。既に専門職として働きながらボランティア参加してくれる社会人もいます。

初めてのボランティア参加時には自信なげに戸惑っていた学生が、活動を続けるうちに自信を持つようになり子どもたちと活動する時も生き生きとした様子で「また次回も参加します」と笑顔で帰っていくようになります。友人を誘って参加してくる学生もいます。

そのこと自体は小さいことかもしれませんが、この活動を続けていくことで若者が夢や希望・自信を見出し、ひいては立派に社会に巣立っていく姿を見られることはとても幸せなことだと思っております。

#### ◆苦労した点

・ボランティアの確保には苦労しました。交通費(一律)は支払いますが、いわゆる無償ボランティアですので、特に大学生などはアルバイトがあったりと個々の事情があるようです。そのかわり、参加してくれるボランティアは熱い思いを持っている(持つようになる)方が多かったように思います。対象児(発達障害児)が圧倒的に男性多数でしたので特に男性ボランティアの確保に苦労しました。

・外部へのPRは下関市内の高校・大学・専門学校及び近隣(県西部)の大学にボランティア募集のチラシを配布している。その他ホームページに掲載、ボランティア登録者にはボランティア事務局より毎月案内メールが送信される。

・当法人では他事業として啓発・講演会・勉強会などを行っている為、法人の様々な活動については少しずつ地域理解が進んでいるように思う。

#### ◆今後の課題・発展の方向性

・ボランティアの確保があります。これは地元大学の「ボランティア学」の実習生受け入れ先となっていますので、ある程度は確保されますが、まだ足りないのが実状です。当法人の認知度を高めてボランティア活動への理解を深めていくこと、ボランティア募集の対象地域を広げていくことを検討しています。

・地元大学の「ボランティア学」授業に年2回「出前講座」を行っています。学生さんたちの評判もよいので、他の大学などへも繋がっていかないと検討中です。

#### ◆活動を終えての感想・意見等

活動準備など大変なことは多々ありましたが、やはり活動後に子どもたち・ボランティアの笑顔に接すると「頑張ってたかった」と思います。

ボランティアが活動後の感想によく「○○君が楽しそうで私も楽しくなりました。○○君に元気してもらいました」と書いているのですが本当にその通りだと思います。

子どもたち、ボランティアが保護者にまた笑顔と元気をくれているのだと。小さな幸せの輪がこうやって広がっていくといいなと思っています。

貴財団の助成のお陰様で一年間無事に活動を行うことが出来ましたことを心より感謝申し上げます。